当院のオンライン診療を希望される患者さんへ

本来、オンライン診療を患者さんと医療機関がお互いに円滑に行うためには、お互いに費用や手間を投じて環境を整備する必要があります。具体的には、オンライン診療を専門に扱う通信事業者を利用することになります。しかしながら、当院では、オンライン診療を受けられる患者さんの医療費以外の経済的負担を最小限にするため、オンライン診療通信事業者を利用しておりません。

そのため、患者さんには以下のご協力をお願いしております。

- ・ビデオ通話アプリの「skype®」を利用できること。(マイクロソフト ID を有していること。)
- ・また、「skype®」のビデオ通話による診療に納得、同意していること。
- 医療費の支払いをネットバンキングで診療終了時に即時お振込みができること。

以下に、当院独自の場合と通信事業者を利用した場合との比較を示します。

	当院が独自で行う場合	通信事業者を利用する場合
費用	振込手数料(愛媛銀行なら無料)処方箋郵送費用 100円	・アプリ使用料(保険外)・病院設定の患者負担金(保険外)
通信の安全性	マイクロソフト社の通信アプリ →信頼性は高い	事業者独自の通信アプリ→信頼性は高い
情報の安全性	通常の診察と同じ→患者さんの情報は秘匿されます	事業者に個人情報を開示→事業者独自のセキュリティ
支払い方法	・ネットバンキングで即時振込→受診状況により来院時徴収も可	クレジットカードで即時払い→毎回必ず支払い
処方・処方箋	・希望の薬局に処方箋をFAX ・薬局へは取りに行く	事業者の指定した方法郵送などサービスあり
予約	・当院通常の診察と同じ→電話予約可、ネット予約可	• 事業者のアプリでネット予約
アプリの準備等	・マイクロソフト ID の取得 ・「Skype®」のダウンロード ・ネットバンキング登録	事業者のアプリをダウンロードクレジットカード取得

ポイントは、どちらも患者さんの医療費以外の費用負担が生じること、各種アプリなど使える環境や知識が必要であること、医療費の自己負担分は即時支払いが必要であることです。ただし、当院独自の方が確実に費用負担は少ないです。また、本来は通院の際の交通費や待ち時間など、目に見えない実費負担は生じていますので、オンライン診療にまつわる実費負担はほとんど差引されます。当院は愛媛銀行を利用していますので、愛媛銀行の口座をお持ちの場合、ネットバンキングによる振込手数料は無料でご利用いただけます。つまり処方箋を郵送する100円(切手を含む)だけで済みます。

なお、マイクロソフト社の通信「skype®」が安全でないとお考えの方につきましては、当院ではオンライン診療をお受けできません。通信事業者を利用しなければ、そもそも個人情報や受診の情報自体は通常通り秘匿されます。「skype®」のセキュリティ性能や利用規約、プライバシーポリシーなどについては公式サイトにてご確認下さい。アプリ導入はお手伝いいたします。以上、ご不明な点はスタッフまでなんなりとお問い合わせ下さい。